



非吸収性縫合糸セット

# パークローズによる 止血を受ける患者様へ



# はじめに

本冊子は、カテーテルという管を使った検査や治療の後に、カテーテルを通した血管の穴を閉じる（止血といいます）ための医療機器「パークローズ」を使用される患者様向けに作成しました。

カテーテル使用後の止血やパークローズを使用した止血方法、止血後の過ごし方、注意点について解説しています。



# カテーテルを使った後の 止血について

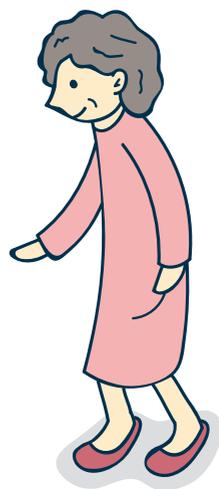
全身の血管、構造的心疾患、不整脈などの検査や治療のために、カテーテルを使った場合、太ももの付け根などにある血管の穴を閉じて止血する必要があります。

手で圧迫して止血

パークローズを  
使って止血



止血後、  
数時間から翌日まで  
絶対安静が必要



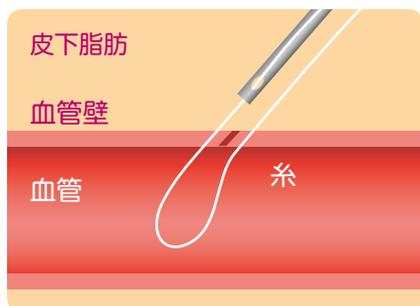
止血後、数時間で  
歩行開始も可能

\*様々な要因を考慮し、最終的には医師が決定します

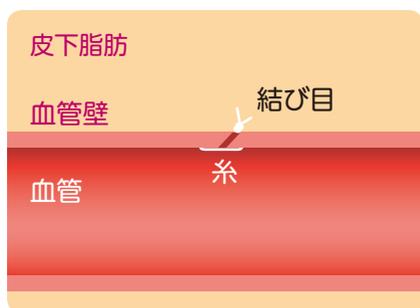
# パークローズを使った止血方法

パークローズは、カテーテルを通していた血管の穴を縫って止血する医療機器です。止血後の抜糸は必要ありません。

## パークローズを使った止血の仕組み



カテーテルを通した血管の穴にパークローズを挿入します。本体に収められていた糸を血管壁に通します。



糸で血管の穴を縫い合わせて閉じます。結び目を血管壁に密着させ、糸を切ります。

# 止血後の傷口の処置

止血後は、傷口からの感染を防ぐために、傷口を適切に処置します。

## 傷口の処置

- 傷口全体を正方形のガーゼ等で確実に覆います。
- 感染を防ぐため傷口の清潔・乾燥を保ちます。  
ガーゼ等が濡れたら新しいものと交換します。
- 傷口は毎日点検してください。

## 時々あらわれる症状

### 痛み、圧痛

(外から強く押されて感じる痛み)

→1週間程度でおさまります

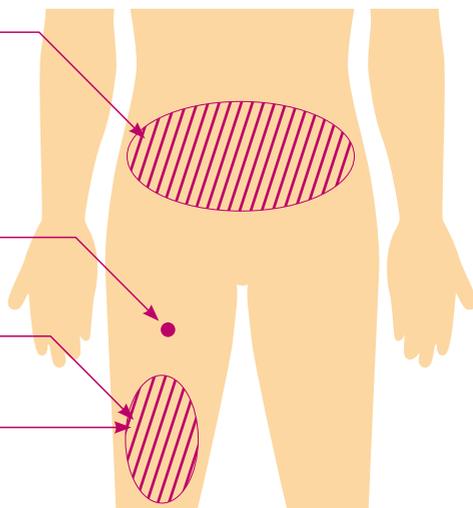
### 止血部位からの少量の出血

### 青あざ

→2週間程度でおさまります

### 小さいしこり(1.5~2.5cm)

→長くても6週間でおさまります



# 止血後の過ごし方

止血後は、数時間経てば歩くことも可能です。歩行については、止血を担当した医師が状況を総合的に考慮して判断します。

下記は目安です。医師の指示に従ってください。

	止血当日	1	2	3	4	5	6	7 (日)
日付	/	/	/	/	/	/	/	/
傷口を清潔に保ち ガーゼ等の交換をする	○	○	○	○	○	○	○	○
シャワーを浴びる*1	×	○	○	○	○	○	○	○
入浴する*2	×	×	×	×	×	○	○	○
お腹に力のかかる 動作をする(正座など)	×	○	○	○	○	○	○	○
車を運転する*3	×	×	○	○	○	○	○	○
重いもの(4~5kg以上)を 持ち上げる*4	×	×	×	×	×	×	×	×

- \*1 シャワーの前にガーゼ等を取ってください。止血後5日間は立ったままシャワーを浴び、傷口は石鹸と流水でやさしく洗ってください。その後、完全に乾かしてください。パウダーやローションはつけないでください。
- \*2 傷口が完全に治るまでは控えてください。
- \*3 痛みがある場合は控えてください。
- \*4 退院後1週間、または傷口がふさがるまでは、重いもの(4~5kg以上)を持ち上げるのは控えてください。

退院後も症状によってはすぐに担当医師へ連絡する必要があります。

### こんな症状が出たらすぐに医師へ連絡を

- ドクドクと脈打つように**大量に出血する**
- 足の付け根や足が**腫れてくる**
- 足の付け根や、足が**異常に痛む**
- **感染**の兆候があらわれる(発赤、熱感、発熱、悪寒、ガーゼに血液以外のものが付着する、傷口が治りにくい)

など

その他にも  
気になる症状があらわれたら、  
遠慮せずに医師へ連絡して  
ください。



ご担当医師へ

この患者様はカテーテル挿入後に  
パークローズを使用して止血しました。

お名前

止血処置について

止血日 年 月 日

止血部位 右大腿動脈 左大腿動脈

担当医師

医療機関

☎ ( )

製造販売業者

アボットメディカルジャパン合同会社

本社：〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター

お問い合わせ：VASCULAR事業部

〒108-6304 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 4F

™ Indicates a trademark of the Abbott Group of Companies.

Information contained herein for use in Japan ONLY.

[www.cardiovascular.abbott/jp](http://www.cardiovascular.abbott/jp)

©2020 Abbott. All rights reserved. MAT-2012081 v2.0



Abbott